第二回 北島三郎

ミュージシャンを職業としている以上、いろんな人のステージを見て勉強するのは、当然のことかも知れません。しかし、そうそう感動のステージには出会えないものです。そんな中、私が今までに見たステージの中で「おぉ!」と思ったアーティストに「サブちゃん」こと北島三郎さんがいます。今回は、サブちゃんのライブ・レポートを書きます。

私がサブちゃんを見たのは今年の3月。新宿コマ劇場の月間公演のときでした。どうやら「三郎」だけに「3月」にしているようですね。1日2回公演で夜の部を見ました。

「どんな内容なんだろう?」ワクワクドキドキでチケットを買って会場内へ入ると、そこは「おっさんおばはんの園」でした。まぁ当然なんでしょうが、私のような茶髪の人間は探してみたけど一人もいませんでした。あと驚いたのは、サブちゃんの「コスプレ」が数多くいたコト。そうです、頭をパンチパーマにして、ちょっぴりヤ○ザ風の服装なんだけど顔は一般的……みたいな。強者になると、マジックで鼻の穴を大きく描いてみせて……コレはウソです。

ひと通りあちこちウロウロして席につくと、間もなく開演の時でした。そこでまたビックリがひとつ。なんと「売り子」がホール内をウロついているではないか。よく野球場のスタンドなんかで、ビールやおつまみを売っているアレです。フッと横を見るとおばはんが確かに弁当を食っている。そうか、こういうコンサートは飲み食いしながら見るものなのか! 私はためらわずアイスクリームを買いました。

いよいよ暗転になってブザーが鳴り終わると、あまりにも壮大な音楽にのせての幕あき。「うぉ〜!」私は心の中で叫びました。まず始まったのは「国定忠次外伝」という芝居からでした。当然最初はサブちゃんはいません。ワキ役の人たちが、なんやゴチャゴチャやっている。しばらくするとサブちゃんの声が! 「誰だ!」というワキ役の声をキッカケにテーマ曲にのせてサブちゃん登場。その瞬間会場のあちこちから「サブちゃ〜ん!!」という茶色い声の嵐。私もついつい叫びそうになりました。

それから芝居は約2時間続きました。途中、場面転換が何度かあって、その度に「かわら版の豆吉」という時間の経過を説明する人が出てくる。調子のいい喋りとカン高い声の人だ。誰だろう。よく見ると、あ、「白木みのる」だ……。ガンバレ、みのる!!

そして芝居のあとは休憩がなんと30分。このあとはいよいよ「歌」なんだろうが、いったい何時間公演をやるつもりなんだろう。いろんな思いで休憩を終えたあと、待ってました、歌謡ショー!! タイトルはなんと「ヒットパレード北島三郎 大いに歌う」だ。やったぜ。大いに歌ってくれぃ!

32人+指揮者のバックを従えてのオープニング。曲名はわからないが勇ましい感じの曲でスタート。我らがサブちゃんは、センターの階段よりキョーレツにたかれたスモークの中から登場。衣装は黒の羽織袴だイエ〜イ!!照明もハデハデだぜ。ここでも茶色い声があちこちで飛び交っている。オッケ〜!! さすがにスタンディングの客は、いない。

数曲どっしりと歌い上げるとサブちゃんは舞台ソデへ引っ込んだ。代わりに「浜村淳」のような衣装を着た司会者が出てきた。どうやらサブちゃん専属の司会者らしい。なんともいえないひと昔前の口調で場をつないでいる。以前、KBS京都テレビの番組で司会を経験したことのある私は、注意して耳を傾け、何かを盗もうとした。すると「私はよく緊張する方で、特にキレイなお客さんのいるときはダメなんですが……、今日は大丈夫ですね」(場内、ワハハハ) ……泣けてきた。

涙を拭う間もなく、続いてタキシード姿のサブちゃんが再び登場。今度はわりとよく動いている。いいぞ、サブちゃん。そこからの流れはよくある歌謡ショーっぽく、時折素敵なMCをし、早変りのように何度か衣裳替えをし、でした。舞台セットも何度か変わった。そう、この舞台セットチェンジのときも、降りた幕の前で「新宿コマダンサー」とかいう、リオのカーニバル風のお姉さんたちの素晴らしい踊りが場をつないでくれる。見事に客を飽きさせないように演出してあるんだなぁ。しかし、あのお姉さんたちの必要以上の笑顔が……。

やがてステージも佳境に突入していったが、最後のセット「祭り」風で、なんとサブちゃんは「超特大照明ギラギラ仕掛けバリバリのスペシャル御輿(みこし)」に乗ってソデから登場してきた。おぉ、なんとハデな! 演歌といえど、ここまでハデにしていいものなのか! このハデさはまさに「米米クラブ」並み、いやそれ以上かもしれない! 私は感動とショックで身を震わせた。

そしてフィナーレ。トータルで約4時間のステージだった。長かった。

さまざまな感動を胸に新宿コマを出、帰路についた。一番思ったのは、サブちゃんのステージングのテイストは、非常に新しいものであるということ。若者でも充分に楽しめる内容で、そしていろんな意味で、結構笑える。

来年歌手生活30周年を迎える北島三郎さん。現役バリバリ元気いっぱい そんなサブちゃんのライブ、これはもう是非。いっぺん見てみぃ!?

【題字・イラスト】アキレスKEN

ICHIBANBOSHI TETSUYA

【プロフィール】
京都市生まれ。本業はミュージシャン。
'90年、市内のゲームセンターで知りあった仲間と「NOISE FACTORY」を結成。
9月21日 2ndシングル「星も凍る夜」、10月1日 2ndアルバム「NOISE FACTORY ～パール7～」を発売。